



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2022年8月14日(日) 9:30~12:00(曇り)

参加者 一般:2名

指導員:3名

テーマ 草原の昆虫

太平洋岸を進み静岡県に上陸した台風8号は去ったものの、台風一過の爽やかさはなく、雲が多く蒸し暑い日でした。

いかにも夏といったクマゼミとアブラゼミの声に混じって、秋を感じさせるツクツクボウシの声も聞かれました。

テーマは先月と同じく「草原の虫」です。

草の繁みの中からエンマコオロギのリズミカルな声や、ヒガシキリギリスの「ギィー チョン」も流れてきます。川原の草原を歩くとショウリョウバッタをはじめクルマバッタやコバネイナゴなどが飛び出てきます。一方、大野極楽寺公園ではコバネイナゴかと捕まえたところ、ハネナガイナゴでした。また、川原のアカメガシワの枝にはキリギリスの仲間のサトクダマキモドキが止まっていた。

堤防の法面ではツマグロヒョウモンがたくさん飛んでいました。ここには幼虫の食草のスミシガ群生しているので、産卵場所となっているのでしょう。

花では、川原にメハジキが増えてきたようです。以前から少しはありましたが、よく見かけるようになりました。

大野極楽寺公園の草原ではツリガネニンジンの花が咲いています。適度な草刈りで日当たりの良い環境が維持され、この植物も増えているようです。他所では秋に多く花が見られますが、ここでは例年7月頃から咲いています。林の中では終わりかけといった感じでウハユリの花が咲いていました。一時は林の周囲にも生育範囲を広げましたが、草刈りで消失し、限られた場所に咲いています。138タワーパークの林の中では巨大ヌスビトハギといった感じのフジカンソウの花が咲いていました。この花もこの辺りではあまり見かけない珍しいものです。

遊歩道脇では早くもヒガンバナの花茎が伸びていました。秋の彼岸の頃に咲くことからついた名ですが、なぜかここでは毎年1カ月程早く咲きだすものがあります。この花が満開になると秋本番といった感じの風景になりますね。

なお、余談になりますが、ここで繁殖したオオタカは幼鳥2羽が無事に巣立ちし、8月上旬にどこかへ去ったということでした。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

虫:シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ウスバキトンボ、ギンヤンマ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミ、ムラサキシジミ、サトキマダラヒカゲ、チャバネセセリ、キマダラヒカゲ、イチモンジセセリ、オオアヤシヤク、キマダラカメムシ、ベッコウハゴロモ、クマバチ、タイワンタケクマバチ、キボシカミキリ 鳥:ツバメ、キジバト、ホオジロ、シジュウカラ、メジロ、コゲラ、ハシブトガラス その他動物:ニホンアマガエル、ウシガエル(声) 花:カワラサイコ、ヒメシヨオン、ノアザミ、カワラマツバ、コマツナギ、シロツメクサ、ミヤギノハギ、イヌコモチナデシコ、コマツヨイグサ、メマツヨイグサ、ミナトマツヨイグサ、メリケンムグラ、オオフタムグラ、ヤブミョウガ、ツククサ、ヤブラン、ミスヒキ、ツルドクダミ、セイヨウウツボグサ、ヘクソカズラ、ヤブガラシ、アレチハナガサ、アメリカネナシカズラ



(メハジキを観察中にサトクダマキモドキが飛び出した。)



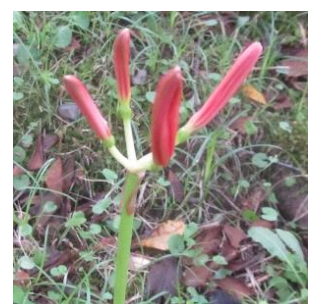
サトクダマキモドキ



ウハユリの花



フジカンソウの花



早くも伸びだしたヒガンバナ